

様式 8

河川基金助成事業

「多様性のある湿地環境の再生と，子どもたち
の自然体験活動の推進」

助成番号：2022-6113-008

麻機ウェットランドクラブ
代表 石上恭平

2022 年度

1. 事業概要

1-1. 活動の目的

麻機遊水地において、多様性のある豊かな湿地環境を保全するために、ミズアオイをはじめとした攪乱依存型絶滅危惧植物の再生に取り組む。

また、子どもたちが麻機遊水地の自然に親しんでもらうための観察会、市民への啓発のための観察会を開催し、広く市民にも呼びかけ、この自然を地域の宝として後世に引き継いでいくことを目的とする。

1-2. 活動の経緯

麻機遊水地は、治水掘削工事の過程で湿地環境が再生され、多様な動植物が見られるようになった。湿性植物はタコノアシなど 23 種の絶滅危惧種が確認され、水田表土を埋め戻した場所にはミズアオイの大群落が出現したことから、平成 13 年に環境省の「日本の重要湿地 500」にも選ばれている。

この実態を踏まえ、平成 16 年 1 月に各種民間団体や専門家、遊水地周辺の住民、静岡県や静岡市など多様な主体によって構成する「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」を設立、平成 19 年 3 月に「自然再生全体構想」が、平成 20 年 12 月には「自然再生実施計画」が策定される。

その後、静岡市の『麻機遊水地地区グランドデザイン』に基づき、平成 28 年に「麻機遊水地保全活用推進協議会」に移行しました。

麻機ウェットランドクラブは、この協議会の下部組織の自然再生部会で活動しており、この自然再生事業で示された実施計画に従って、自然環境を保全・再生および維持管理を共に実施していくものである。

1-3. 活動内容

(1) 活動概要

あさはた緑地（公園）がある麻機遊水地第 1 工区と第 3 工区を中心に表 1.1 に記載した活動に取り組みました。3 年連続続いた新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、活動やイベントの縮小や参加人数の減少の状況も見られました。



写真 1.1 活動場所の航空写真

表 1.1 活動概要

攪乱依存種等の湿生植物の保全活動	市民への啓発活動
① ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動 ② オニバスの保全管理活動 ③ カヤネズミの生育環境の保全	④ 自然観察会 ⑤ 他団体（市等）のイベント共催

(2) 活動状況

1年間の活動状況

表 1.2 活動状況

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
1	R4. 4. 3（火） あさはた緑地	観察会	おさんぽ観察会 お散歩しながら野の花でお弁当をつくる	12名 (8名)
2	R4. 4. 12（火） スマイルあさはた	会議	活動の報告 令和4年度の活動計画について	9名
3	R4. 4. 16（土） 第3工区	作業	前日の大雨でミズアオイ田んぼ冠水のため 遊水地内の生育調査とした	3名
4	R4. 5. 10（火） スマイルあさはた	会議	活動・イベントの打ち合わせ コロナ対策等について	6名
5	R4. 5. 21（土） 第3工区	作業	ミズアオイ田んぼ周辺草刈り	3名
6	R4. 6. 14（火） スマイルあさはた	会議	活動・イベントの打ち合わせ	9名
7	R4. 6. 18（火） 第3工区	作業	雨天のため作業は草刈り ミズアオイ発芽調査	2名
8	R4. 7. 9（水） あさはた緑地	イベント	あさはた緑地主催 ハス七夕まつりに参加 センターハウスを使ってイベント	6名
9	R4. 7. 10 あさはた緑地	イベント	あさはた緑地主催 ハス七夕まつりに参加 センターハウスを使ってイベント	7名
10	R4. 7. 12（火） スマイルあさはた	会議	活動報告、イベントについて	8名
11	R4. 7. 17（日） あさはた緑地	観察会	おさんぽ観察会 ハスを見て遊んで楽しもう 昨夜来の大雨（線状降雨帯）で中止	0名 (0名)
12	R4. 7. 23（土） 第3工区	作業	ミズアオイ周辺草刈り 選択的	4名
13	R4. 7. 24（日） あさはた緑地（1工区）	作業	あさはた緑地（公園内） 貴重種保全のための選択的除草作業	3名

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
14	R4. 9. 4 (日) あさはた緑地	観察会	沼のばあさんとオニバスお話し会 & ミニ観察会	19 名 (16 名)
15	R4. 9. 25 (日) あさはた緑地	観察会	秋の草花観察会 台風 15 号出水で中止	0 名
16	R4. 10. 11 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告、イベント打ち合わせ	4 名
17	R4. 10. 16 (日) あさはた緑地 センターハウス	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう (第 1 回) 静岡市東部生涯学習センター共催事業	12 名 (8 名)
18	R4. 10. 22 (土) 第 3 工区	作業	ミズアオイ周辺草刈り 保全活動	3 名
19	R4. 10. 23 (日) あさはた緑地 遊水地内カヤ原	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう (第 2 回) 静岡市東部生涯学習センター共催事業	12 名 (8 名)
20	R4. 11. 6 (日) あさはた緑地	観察会	秋の自然観察会 カヤネズミってどんなネズミ	30 名 (23 名)
21	R4. 11. 8 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告 活動予定の打ち合わせ、その他	4 名
22	R4. 11. 15 (火) 第 3 工区	作業	おさんぽ観察会 リースの準備作業	6 名
23	R4. 11. 19 (土) あさはた緑地	作業	あさはた緑地内 貴重種保全活動	3 名
24	R4. 12. 4 (日) 第 3 工区	観察会	あさはたおさんぽ観察会 ふゆのみちでリースづくり	21 名 (17 名)
25	R4. 12. 13 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告 活動予定の打ち合わせ、その他	6 名
26	R4. 12. 17 (土) あさはた緑地	作業	あさはた緑地内 貴重種保全活動	2 名
27	R5. 1. 10 スマイルあさはた	会議	活動報告とイベント・学習会打ち合わせ	6 名
28	R5. 1. 12 (木) あさはた緑地	作業	おさんぽ観察会及びカヤネズミのくらしを 学ぼう 下見と準備 (カヤ集め)	4 名
29	R5. 1. 15 (日) あさはた緑地	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう (第 3 回) 静岡市東部生涯学習センター共催事業	15 名 (10 名)
30	R5. 1. 21 (土) あさはた緑地	観察会	あさはたおさんぽ観察会 ふゆのみちでロゼットさがし	20 名 (15 名)
31	R5. 2. 12 第 2 工区	作業	遊水地掘削予定カ所所の表土採取 ふじのくに地球環境史ミュージアムへ運搬	6 名

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
32	R5. 2. 14 スマイルあさはた	会議	活動報告とイベント・学習会打ち合わせ	3 名
33	R5. 2. 18 (土) ふじのくに地球環境史 ミュージアム	作業	ミュージアムの中庭の池にオニバス・ハスなどの湿生植物を展示する土の入れ替え	13 名
34	R5. 2. 19 (日) あさはた緑地 センターハウス	イベント	カヤネズミのくらしを守ろう 東部生涯学習センター 静岡市環境局環境創造課 3 者共催事業	30 名 (18)
35	R5. 3. 12 (日) あさはた緑地	観察会	あさはたおさんぽ観察会 あさはた緑地で春みつけ！	13 名 (9 名)
36	R5. 3. 15 (水) スマイルあさはた	会議	作業活動の報告と今後の取り組み方 あさはた緑地管理者との打ち合わせ	6 名
37	R5. 3. 21 あさはた緑地	作業	貴重種保全活動 人為的攪乱	5 名

※参加人数の（ ）内数値は一般参加者の人数

2. ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動

2.1 活動の目的

遊水地工事により埋土種子から蘇ったミズアオイなどの攪乱依存種を保全する為、耕起（人為的攪乱）し水田環境と同じ状態にして、埋土種子から発芽したミズアオイが生育したのちに、種子の更新をして保全活動を行う。



図 2.1 事業実施箇所

2.2 作業方法

水田と同じように、鍬を使って人力にて耕起（攪乱）し湿地環境を作る。ミズアオイがある程度発芽、生育した後に貴重な植物も残しながら、チクゴスズメノヒエなどの外来種やミズアオイの生育を阻害する植物（ヨシやカンガレイ・カサスゲ・イの仲間など）を除去する作業も継続して行う。

作業写真



写真 2.1 人力による耕起作業



写真 2.2 周辺の草刈り作業



写真 2.3 ミズアオイ発芽状況



写真 2.4 選択的除草作業



写真 2.5 ミズアオイ周辺草刈り作業



写真 2.6 濃い紫色の花をつけました

2.3 結果

3 月末に攪乱作業をしましたが、コロナウィルス蔓延で人手も少なく思うような保全活動が出来ずにいました。台風 15 号や線状降雨帯による大雨で遊水地への流入があり、幾度となく冠水し思うような生育が期待できなかった。土壌の劣化や水質の悪化などが生育不良の要因とし、検討していきたいと思います。あさはた緑地への移植も試んでいます。

ミズアオイの大きな群落を復元することができず散策される市民の方々も残念がられました。

3. オニバスの保安全管理活動

3.1 活動の目的

絶滅危惧Ⅱ類にランクされているオニバスが麻機遊水地第1工区の池に2010年に復活しました。復活したオニバスが今後、植生遷移や土壌の劣化などにより絶滅しないように、遊水地内の他の池にも植生エリアを確保しつつ保全・管理することを目的とする。

現状では、遊水地3工区、1工区でも自生が見られなくなり、ミシシッピーアカミミガメやアメリカザリガニの食害があると考えます。当面の対策として近隣小学校の池やふじのくに地球環境史ミュージアムの中池などに避難し、保全活動をしています。



図 3.1 オニバス保全活動実施箇所

3.2 作業方法

今年は数株発芽するが、生育することが出来なかったりして再生することができなかったので遊水地内での生育状況を観察することが主な作業となった。対策として、近隣小学校の池やミュージアム中池への保全活動を行いました。



写真 3.1 発芽するが葉が切られてしまう



写真 3.2 発芽状況



写真 3.3 近隣小学校の池に種子による移植



写真 3.4 大きく生育した様子



写真 3.5 近隣小学校のプランターへ移植



写真 3.6 大きく生育した様子



写真 3.7 あさはた緑地の池に移植



写真 3.8 移植後が心配です

3.3 結果と考察

遊水地内のオニバスは、数本発芽しても間もなく消えてしまうような状況で、残念な結果でした。

近隣小学校の池やあさはた緑地（遊水地内公園）などに一時的に避難成育させ、時期を見て里帰りも考えていきます。

外来生物（ミシシippアカミミガメ・ザリガニ）などの被害も考えられるので、それらの駆除も専門の先生方に相談して対策を考えていく必要があると考えます。

4. カヤネズミの生育環境の保全活動

4.1 活動の目的

カヤネズミが生息できる環境を保全することを目的としました。

カヤネズミはヨシ、オギやススキなどの群落する場所に巣を作り生息しています。乾燥に強いセイタカアワダチソウやアレチハナガサなどの侵入があり、植生が偏移する傾向が見られます。又オギなどがそのまま放置すると劣化し葉の数も少なくなり営巣が困難になることが考えられます。そこで、カヤ原を刈り払い新しいカヤを生育していく必要があります。

4.2 活動方法

定期的にかヤ原を刈取っていた場所は『あさはた緑地』公園として供用が開始され、指定管理者が維持管理する範囲となり、管理者に委ねることにしました。刈り取る時期などをアドバイスしています。

4.3 考察

公園になり人や犬の散歩、自転車、スケボー、管理車両などの通行が頻繁となり、カヤネズミの営巣地としてやや問題があると考えます。

他の場所で必要があれば、カヤの刈取り作業を行い新しいカヤが生育しカヤネズミが営巣しやすい環境を作っていきたいと思います。麻機遊水地河川管理者である静岡土木事務所との話し合いで、草刈りの時期などをお願いしております。

5. 静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示紹介

5.1 活動の目的

啓発活動の一環として、麻機遊水地の植物をミュージアム（博物館）の中庭にある池にプランターに移植し、麻機の湿生植物の実物を展示することにより広く市民に麻機遊水地の魅力を視覚的に伝える。この活動は今年で7年間継続しています。

5.2 作業方法

ミュージアムの池にあるプランターに新たに土を補いプランターにある植物を植え替える作業を行います。

新しい土は静岡土木事務所の許可を得て麻機遊水地の掘削工事をしている田んぼの表土を採取し、ミュージアムへ運びます。

展示用植物は、ミズアオイ・タコノアシ・オモダカ・コツブヌマハリイ・カンガレイ・サンカクイ・ヒメガマ・コガマ、・ガマ・オニバス・ハス（レンコン）などの湿生植物です。

土の採取・植物の採取と運搬



写真 5.1 遊水地工事個所の表土を採取



写真 5.2 表土を 38 袋、運搬

ふじのくに地球環境史ミュージアム中池で土の補充と植え替え作業



写真 5.3 プランターを引き上げ土の入れ替え



写真 5.4 手作業で追肥も行う



写真 5.5 作業お疲れさまでした



写真 5.6 中池整備完了です

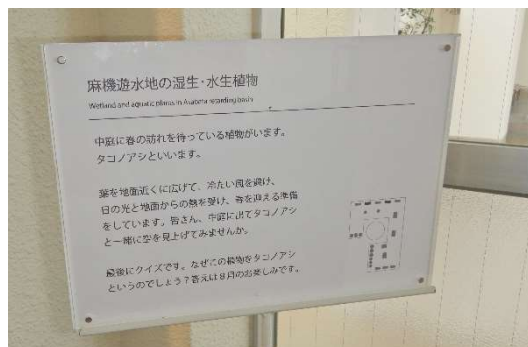


写真 5.7 麻機遊水地の植物紹介パネル



写真 5.8 昨年夏の池の様子

5.3 考察

ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示し、来場者の方にサポーターから紹介していただいたことで、市民の皆様が麻機遊水地へ足を運んでいただいたと考えています。また、麻機遊水地の豊かな自然の一端を知っていただき、興味を持ってくれるとありがたいと思います。

今回もサポーター数名にも声をかけ作業に加わっていただきました。今後もミュージアムの先生方との連携も発展させていきたいと思っています。

6. 学習会

6.1 活動の目的

私たちのスキルアップを図るため、他の活動の見学や交流を目的としましたが、まだまだ続いていたコロナの影響で中止しました

6.2. 火入れ実験

麻機遊水地活用推進協議会が主催する事業で、効果的・効率的な植生管理手法の確立のため、冬季の枯れヨシ焼きを行い、その効果を検証する目的で行われました。

指導してくださる西廣淳先生（国立環境研究所）から挨拶と着火用ガスバーナーと消火ポンプの説明を受け、いよいよ着火します。



写真 6.2.1 挨拶と注意事項説明



写真 6.2.2 枯れたヨシに着火



写真 6.2.3 瞬く間に燃え上がっています



写真 6.2.4 数分で燃え尽きます



写真 6. 2. 5 火入れの効果影響のお話



写真 6. 2. 6 参加者で記念写真

7. 市民への啓発活動・環境学習

7.1 活動の目的

啓蒙活動・環境学習は、麻機遊水地の貴重な自然や地域に伝わる伝説、子どもたちに自然とのふれあいの楽しさを知ってもらうことを目的として開催する。併せて遊水地での活動を広く市民の方々に理解してもらうことも目的とします。他の団体と共催活動も増やし、低年齢のこどもたちを対象に「あさはたおさんぽ観察会」をシリーズ化して回数を増やしました。

7.2 あさはたおさんぽ観察会

＼お散歩しながら野の花でお弁当を作ろう／

開催日：令和4年4月3日（日） 10時～11時半

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

あさはた緑地管理事務所（グリーンパークあさはた）と共催事業

内容：あさはた緑地の春を草花を通して楽しむ、野の花を摘むことによって植物を五感で味わう竹のお弁当箱を持ってお散歩しながら公園内の草花を摘んで詰め、野の花弁当を完成させる。コロナ対策として体温測定、手指の消毒、権能観察を行います。

当日はあいにくの雨模様で、センターハウス内を部屋を借りての出発となりました。



写真 7.2.1 事前の打ち合わせ会



写真 7.2.2 竹のお弁当のおはなし



写真 7.2.3 雨の中思い思いにお花摘み



写真 7.2.4 どれを使おうかな？



写真 7.2.5 作った竹のお弁当を持ち寄り



写真 7.2.6 室内で本の紹介・缶バッチプレゼント

7.3 ハス・七夕まつり

開催日：令和4年7月9日（土）－10日（日） 9時～16時

開催場所：あさはた緑地

主催：あさはた緑地管理事務所（グリーンパークあさはた）

協力：ウェットランドクラブ その他団体

内容：自然と歴史に想いをはせて麻機を楽しむ七夕まつり

ハスを使ったシャボン玉・七夕のおりひめひこぼしコーナー・ハスの塗り絵で缶バッチ
沼のばあさんの紙芝居・カヤネズミのお母さん紙芝居などの読み聞かせ・クイズコーナー
などなど様々なコンテンツで楽しい七夕まつり



写真 7.3.1 センターハウスの会場



写真 7.3.2 おりひめ・ひこぼしコーナー



写真 7.3.3 カヤネズミのお母さん紙芝居



写真 7.3.4 沼のばあさんの紙芝居



写真 7.3.5 ハスの茎でシャボン玉



写真 7.3.6 ハスの花と葉を手に



写真 7.3.7 ワークショップでいろいろ体験



写真 7.3.8 ウェットランドクイズに挑戦



写真 7.3.9 自分で塗り絵缶バッチ



写真 7.3.10 可愛いカヤネズミもあります

7.4 あさはたおさんぽ観察会 \ハスを見て遊んで楽しもう／

開催日：令和4年7月17日（日） 8時半～10時

開催場所：あさはた緑地 ハス池

主催：あさはた緑地管理事務所（グリーンパークあさはた）

内容：ハスを五感で味わい、ハスの観察やハスを使った遊びで楽しむ

昨夜来の線状降雨帯による大雨で遊水地内に流入し、麻機遊水地への立ち入りが禁止となった為、イベントは中止となりました。



写真 7.4.1 遊水地出水状況



写真 7.4.2 遊水地立ち入り禁止表示

7.5 沼のばあさんとオニバスのお話会 ミニ観察会 in あさはた緑地

開催日：令和4年9月4日（日）9：30～11：30

場 所：あさはた緑地 農業体験棟

- 内 容：
- ・お話「オニバスってどんな植物？」「オニバス今昔物語」
 - ・紙芝居 おはなしはらっぱさんによる地元の伝説「沼のばあさん」上演
 - ・展示 オニバスの写真、染物、遊水地から出土した昔の種など
 - ・観察 ※今年は現地の生育状態が悪いので、公園内に移植したものを観察します

都合によりセンターハウスの会議室を利用できずに公園内にある体験棟のあさはた納屋を使ってお話会となります。



写真 7.5.1 会場のあさはた納屋



写真 7.5.2 受付、展示物



写真 7.5.3 関連書籍の展示



写真 7.5.4 手作りグッズ



写真 7.5.5 会場の様子



写真 7.5.6 助成金表示



写真 7.5.7 オニバスのお話



写真 7.5.8 沼のばあさんの紙芝居



写真 7.5.9 池に自生しているオニバス



写真 7.5.10 プランターで栽培しているオニバス

7.6 秋の草花観察会 ～秋の遊水地を楽しもう！～ 出水の為、中止となりました。

日時:9月25日(日)

場所:あさはた緑地 湿地周辺

台風15号の出水により、当日公園内立ち入り禁止となり中止としました。

センターのスタッフで、中止のお知らせをしていただきました。



写真 7.6.1 あさはた緑地出水状況



写真 7.6.2 木道手すりまで出水

7.7 秋の自然観察会 ―カヤネズミってどんなネズミ？―

開催日：令和4年11月6日（日） 10：00～11：30

場 所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内 容：麻機遊水地にくらす日本一小さなカヤネズミのお話を聞き銀色の穂が輝くオギ原でカヤネズミの巣を探しながら 湿地の植物や生きものを観察しましょう

当日はとても天気が良く、観察日和でした。大きな四阿で挨拶とスタッフ紹介をして「カヤネズミのお母さん」の紙芝居を読み聞かせ、観察の時の注意などを聞いて、2 班に分かれてフィールドに出発。秋の草花で小さな花束を作ったり、虫を捕まえたり、本命のカヤ原でオギの中でカヤネズミの巣を発見、四阿へ戻って振り返りや、小さな花束を見せてもらいました。楽しい観察会でしたと意見をいただきました。



写真 7.7.1 黄色の旗に集合



写真 7.7.2 挨拶と観察時の注意



写真 7.7.3 カヤネズミの紙芝居



写真 7.7.4 カヤネズミの巣のお話



写真 7.7.5 いろいろな生き物発見



写真 7.7.6 カヤ原でカヤネズミ観察



写真 7.7.7 秋のお花がいっぱい



写真 7.7.8 みんなで振り返り

7.8 あさはたおさんぽ観察会 \ふゆのみちでリースづくり／

開催日：令和4年12月4日（日） 10：00～12：00

場 所：麻機遊水地第3工区

内 容：麻機遊水地麻機遊水地をおさんぽしながら世界に1つだけのリースを作ろう

遊水地に自生するアケビの蔓で作っておいたリースの土台に、草の実や木の実、つるや葉を付けながら歩き、その場でリースを完成させる

当日は天気も良く、風もない穏やかな日曜日でした。事前にアケビの蔓で作っておいたリースの土台を配布し指導員から説明を聞きリース作りに出発です。3工区ではいろいろな木の実や草の実が豊富にありリース作りには最適です。因みに、遊水地のはたらきも説明していただきました。



写真 7.8.1 場所が分りにくいので旗を立てる



写真 7.8.2 リースづくりの説明



写真 7.8.3 歩きながら木の実を見つける



写真 7.8.4 カラスウリのお話を聞く



写真 7.8.5 思い思いにリースづくり



写真 7.8.6 家族で協力して楽しそうです



写真 7.8.7 皆さんで見比べ



写真 7.8.8 関連書籍の紹介

7.9 あさはたおさんぽ観察会 \ふゆのみちでロゼットさがし／

開催日：令和5年1月21日（日） 10：00～12：00

場 所：あさはた緑地

内 容：植物の冬越しであるロゼットをさがしながら、体験農園を中心に歩いて、冬の間には植物はすべて枯れるのではなく、冬越しするための工夫をしながら生きていることを観察する。
ロゼットを切り紙で作ることによって、葉っぱの形がいろいろであることや、ロゼットの形が印象に残るようにする。



写真 7.9.1 受付の様子



写真 7.9.2 河川基金の表示



写真 7.9.3 室内会場の様子



写真 7.9.4 歩きながらロゼット探し



写真 7.9.5 ロゼット見つけたかな？

センターハウスへ戻って工作



写真 7.9.6 タンポポもロゼット



写真 7.9.7 沢山の色紙を用意



写真 7.9.8 工作の材料もいろいろ



写真 7.9.9 工作に夢中



写真 7.9.10 どんなロゼットが出来るかな？



写真 7.9.11 こんなに出来ました



写真 7.9.12 絵本も参考に

7.10 あさはたおさんぽ観察会 \あさはた緑地ではるみつけ！／

開催日：令和5年3月12日（日） 10：00～12：00

場 所：あさはた緑地

内 容：春に咲く野草や生きものを探しながら体験農園を歩く。足元にひっそりと咲いている花を探してかわいい花束を作る。

暖かい日差しの中、小さな花やつくし、虫など見つけて“はるみつけ”と言ってみんなに知らせました。菜の花やタンポポなど、お花を楽しそうに摘んでいきます。



写真 7.10.1 どんな春を見つけるのかな？



写真 7.10.2 テントウムシがいた！



写真 7.10.3 四葉クローバー探し



写真 7.10.4 菜の花を摘んで花束



写真 7.10.5 可愛い花束



写真 7.10.6 作った花束をみんなで見よう



写真 7.10.7 絵本の紹介



写真 7.10.8 楽しい一日でした

7.11 カヤネズミのくらしを学ぼう！〈全3回〉

本事業は静岡東部生涯学習センターと麻機ウェットランドクラブの共催事業として行われました。

第1回 どんなくらしをしているの？

開催日：令和4年10月16日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地センターハウス

内容：どんなくらしをしているの？ カヤネズミの気持ちになってくらしを体験しながら学ぼう

講師によるカヤネズミの暮らしぶりや天敵など学び、紙粘土？を使って紙粘土で、カヤネズミも楽しく作りました。



写真 7.11.1 カヤネズミの住み家や天敵を学ぶ



写真 7.11.2 紙粘土使ってカヤネズミ作り

第2回 カヤネズミの巣を見にいこう！

開催日：令和4年10月23日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：カヤネズミの巣を探しながらカヤネズミのくらす環境を学ぼう

前回学んだことの振り返りをして、カヤネズミの巣を探しに出発です。カヤ原での注意や、カヤネズミを驚かさないように静かに観察することなどの話をしました。

講師の方の指導でフィールドに出てカヤネズミの観察を行いました。カヤネズミの巣をいくつか見つけてその高さを計って調査票に記入して이었습니다。



写真 7.11.3 前回の振り返り



写真 7.11.4 カヤ原で生息環境を体感



写真 7.11.5 カヤネズミの巣の高さ



写真 7.11.6 見つけたカヤネズミの巣



写真 7.11.7 調査した高さを報告

第3回 みんなでカヤネズミを守ろう！

開催日：令和5年1月15日（日） 10:00～11:30

開催場所：あさはた緑地センターハウスとカヤ原

内容：カヤネズミの住む環境と保全について学ぼう

現地でカヤネズミのくらしを観察しながらカヤネズミの住む環境を守るために外来種のセイダカアワダチソウを抜き取り、それをやりに見立てて、やり投げ？的に当てるゲームをして楽しく遊びました。一旦、麻機納屋に戻り、軒先でオギの穂を使ったほうき作りや紙袋とオギの葉を使ってカヤネズミの巣作り工作をしました。

事前準備として、工作に使うカヤの穂を集める作業をしていただきました。

曇りがち日でしたがみんな元気で遊んでくれ、用意した材料でほうきやカヤネズミの巣を作った楽しい1日でした。



写真 7.11.8 住み家のカヤ原を観察



写真 7.11.9 セイダカアワダチソウを抜きやり投げ？



写真 7.11.10 納屋軒下で工作



写真 7.11.11 カヤの巣づくり



写真 7.11.12 カヤの穂先でほうきづくり



写真 7.11.13 みんなに見てもらう



写真 7.11.14 どんぐりのカヤネズミを入れて完成



写真 7.11.15 全3回の学習会終了です

7.12 カヤネズミのくらしを守ろう〈全1回〉

本事業は静岡市環境局環境創造課・東部生涯学習センターと麻機ウェットランドクラブの共催事業として行われました。

日時： 令和5年2月19日（日）13:30～15:30

会場： あさはた緑地センターハウス会議室

対象： 「カヤネズミのくらしを学ぼう」受講経験者有志及び
「市民生きもの調査員養成講座」受講経験者有志

今回は全国カヤネズミネットワーク代表の畠 佐代子先生を講師にお招きし、カヤネズミのくらしを守ろうー草はらにすむ小さな隣人を守るために私たちが出来ることをテーマにして講座が開催されました。カヤネズミの生態、生息地の現状、生育地保全の取り組み事例などパワーポイントを使ってお話をいただきました。



写真 7.12.1 午前中、あさはた緑地カヤ原視察



写真 7.12.2 熱心に聴講



写真 7.12.3 カヤネズミ関連書籍の展示



写真 7.12.4 畠先生と記念撮影

7.13 遊水地フェスタ

新型コロナウイルスの影響により、中止された。

7.14 遊水桜まつり

遊水地周辺で自治会連合会主催の「遊水桜まつり」は、コロナウィルスの影響で中止となり出展を取りやめました。

7.15 活動の効果等

3年続いたコロナウィルスの影響もあり、制約のある中での活動、イベント開催になりました。ウェットランドクラブ主催で開催した6つのイベントでは、合計88名の一般参加者により開催することができ、麻機遊水地の自然の魅力を多少でも広めることができたと考えます。

当会主催のイベントや会議などで新型コロナウイルスに感染した連絡はありませんでした、マスク着用や手指の消毒など、協力いただいた皆様に感謝します。

子ども向けのおさんぽ観察会では、子どもたちが自然で楽しむことで、麻機遊水地の自然環境に興味を持ってもらえ、子どもたちへの環境教育ができたと思う。

昨年度から供用開始となった『あさはた緑地』の指定管理者（一般社団法人グリーンパークあさはた）とさまざまな場面で相互に協力し合って、豊かな自然公園として発展していきたいと思います。

共催事業も多くなり、管理者の若いスタッフさんのアイデアをいただきながら一緒に活動できればと思います。

今後も、この活動を継続させるとともに、部会員のスキルアップや新規活動の応援団を募集し、新たな活動にも取り組んでいきたい。

8. その他の活動

8.1 『あさはた緑地』体験田んぼで、貴重種の保全活動

現在は休耕田となっている田んぼにミズアオイをはじめ、貴重植物が多く生育しており、選択的除草作業や耕運機での攪乱作業を行っています。今後もフィールドとして活動していきたいと思います。



写真 8.1.1 いい感じの湿地になります



写真 8.1.2 夏場は大型植物が繁茂



写真 8.1.3 攪乱前の除草



写真 8.1.4 みんなで耕します

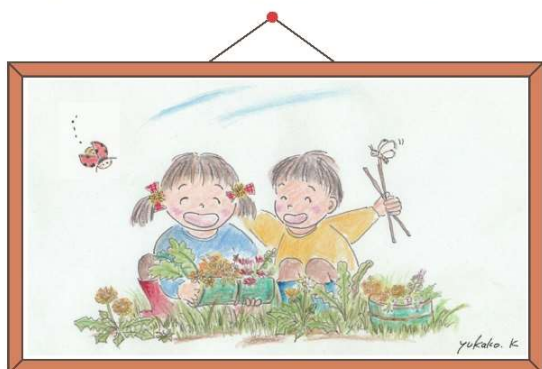
9. 添付資料等

おさんぽ観察会チラシ

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

＼お散歩しながら野の花でお弁当を作ろう！



『竹のお弁当箱を持ってあさはた緑地をお散歩♪
草花を摘んで“野の花弁当”を完成させよう。』

日 付：4月3日（日）

時 間：10時～11時半

場 所：あさはた緑地

参加費：300円

集 合：あさはた緑地センターハウス前

定 員：先着20名（保護者は参加費無料）

持ち物：水筒・タオル・帽子・マスク

長ズボンで汚れてもよい服装

お願い：当日の朝、体温を計ってきて下さい。

協 賛：谷津山再生協議会

できあがり♪



きて・みて・ふれて
あさはた ウェットランド



↓お申込み↓
下記フォーム又は
お電話にて
お申込み下さい。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

ウェットランドってなに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが集まっています。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗いてみませんか？

ねえ知ってる？こんなこと！

- 麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は、世界一の規模だったってこと！
- 遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと！
- 江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠玉を作っていたってこと！
- 日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしてるってこと！



共催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間

毎日9:00～17:00

054-295-5165

ハス・七夕まっりのポスター 主催：あさはた緑地管理事務所

ハ ス ・ 七 夕 ま っ り

自然と歴史に想いをよせて
麻機を愉しむ七夕まつり

7月1日(金)～10日(日)

9:00-17:00 入場無料・雨天開催・荒天中止

[場所] あさはた緑地センターハウス

★9日・10日はスペシャルコンテンツあり

1(金)～10(日)開催コンテンツ

- ・七夕飾り～短冊に願いごとを書こう～
- ・小さな駄菓子屋さん～緑日 ver～
- ・＃わたしのハスフォト(ハス写真展示)
- ・みんなのハス畑(地域の皆さんによる塗り絵と風鈴の展示)

9(土)～10(日)限定スペシャルコンテンツ

- ・麻機の自然で遊ぶワークショップ
(協力：麻機ウェットランドクラブ)
- ・麻機の歴史と昔の遊び体験
(協力：麻機村塾)
- ・沼のばあさんの紙芝居
(協力：西奈おはなしはらっぱ)
- ・忘れてはいけない七夕豪雨の記憶
(協力：静岡市治水交流資料館かわなび)

※スペシャルコンテンツは、両日 10時～17時開催です。

紙芝居は10日(日)のみ開催。午前の部 11時、午後の部 13時。

浴衣
来場
特典

プチお菓子
プレゼント

※無くなり次第終了



あさはた緑地
Asahata Ryokuchi

主催

〒420-0963

静岡市葵区赤松2番地の1

詳細はホームページへ

ホームページ:

あさはた緑地

PCメール: info1@asahata-gp.com



お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日 9:00～17:00

054-295-5165

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

ハスを見て遊んで楽しもう！



大雨で中止

日（日）

～ 10 時

あさはた緑地東側対面

参加費：子供も大人も 300 円（未就園児無料）

集 合：あさはた緑地第 1 駐車場トイレ前

定 員：先着 20 名（未就園児は含まず）

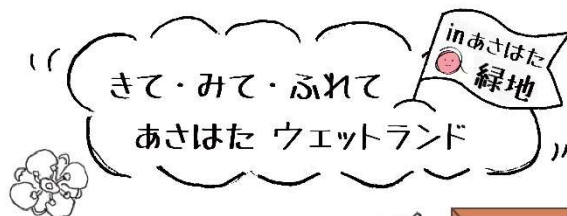
持ち物：水筒・タオル・帽子・マスク

長ズボンで汚れてもよい服装

お願い：当日の朝、体温を計ってきて下さい。

※荒天中止※ 中止の際は 7 時 30 分 HP 掲載

『 ハス池をお散歩♪ハスのお話を聞いたり、
さわったり、シャボン玉もするよ！ 』



黄色の旗が
目印だよ



ウェットランドってなあに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが集まってきます。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗いてみませんか？

ねえ知ってる？こんなこと！

- 麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は、世界の規模だったってこと！
- 遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと！
- 江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠玉を作っていたってこと！
- 日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしてるってこと！



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



共
催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松 2 番地の 1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日 9:00～17:00

054-295-5165

沼のばあさんとオニバスのお話会 チラシ（表面）



令和4年9月4日（日）9：30～11：30

場 所：あさはた緑地 農業体験棟（静岡市葵区赤松 2-1）

定 員：20名 参加無料

申込み：あさはた緑地管理事務所 tel 054-295-5165・fax 054-295-5166
裏面参照

ープログラムー

- ・お話「オニバスってどんな植物？」「オニバス今昔物語」
- ・紙芝居 おはなしはらっぱさんによる地元の伝説「沼のばあさん」上演
- ・展示 オニバスの写真、染物、遊水地から出土した昔の種など
- ・観察 ※今年は現地の生育状態が悪いので、公園内に移植したものを観察します

今後のイベント予定

9月25日（日） ミズアオイ観察会

11月6日（日） カヤネズミ観察会

10月16日（日）～3回連続 カヤネズミ講座 東部生涯学習センター 共催

12月4日（日） おさんぽ観察会（リース）あさはた緑地管理事務所 共催

主催：麻機ウエットランドクラブ

沼の婆さんとオニバスのお話会 参加申込書

参加を希望される方は、下表に必要事項をご記入のうえ、9月2日(金) 正午までに
あさはた緑地管理事務所まで、電話またはファクスでお申し込みください。

※FAX の無い方は、電話でも結構です。

参加者氏名	住 所	電話番号	年齢

※時節柄コロナウィルス対策として、マスクの着用をお願いします。

※お車でお越しの際は、公園内駐車場をご利用ください

案内図



【申し込み及び問合せ先】

あさはた緑地管理事務所

電 話：054-295-5165

FAX：054-295-5166



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



秋の草花観察会

～秋の麻機遊水地を楽しもう！～

「あさはた緑地」の“体験農園”や“ふれあいの水辺”には、珍しい湿生植物がたくさん生えています。そこには虫や鳥たちも集まってきて“いのちの賑わい”が感じられる楽しい場所になっています。そんな中に咲くミズアオイや、面白い形の植物を観察し

な
当
自

台風 15 号で出水 中止

たい人など、どなたでも大歓迎。



日 時：令和 4年 9月 25 日（日） 10:00～11:30 頃

※小雨決行

場 所：あさはた緑地（葵区赤松2-1）※センターハウス前集合

最寄りバス停『大浜麻機線』麻機小学校前

対 象：どなたでも 20 名 参加費無料

持ち物：飲み物・帽子 服装は長袖、長ズボン、マスク

※長靴があるとより楽しめます！

問合せ・申込み：あさはた緑地管理事務所

電話：054-295-5165 Fax：054-295-5166

受付時間：9:30～17:00（申込順）

主 催：麻機ウェットランドクラブ <麻機遊水地保全活用推進協議会>

協 力：（社）グリーンパークあさはた



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

秋の草花観察会 参加申込書

参加を希望される方は、下表に必要事項をご記入のうえ、あさはた緑地管理事務所まで、お電話またはFAXでお申し込みください。

参加者氏名	住 所	電話番号	年齢

※今回収集した個人情報は、本観察会申込者の管理事務及び今後の観察会等のご案内に使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症対策についてご協力をお願いいたします。

ちょっと紹介(^^) / ミズアオイ♡

ミズアオイ科の一年生湿生植物

水辺に生えて葉の形が葵（フタバアオイ）に似ていることから水葵。

昔は水葱（ナギ）と呼ばれ、野菜として食べられていた時代もありました。古くは、万葉集や宇治拾遺物語にも登場します。

また、徳川家とも縁が深く、葵のご紋のきっかけになったともいわれています。日光東照宮と久能山東照宮では多くの水葵の透かし彫りを見ることができます。

かつては水田の強害草でしたが農薬の影響で激減し、静岡県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。現在静岡県内でミズアオイが見られるのは麻機湿地のみです。



日 時： 令和4年 11 月 6 日（日） 10：00～11：30
（雨天中止）

集合場所：あさはた緑地（葵区赤松2-1）センターハウス前 （裏面案内図）

対 象：どなたでも （定員）20 名

参 加 費：無料

持 ち 物：飲み物、あれば双眼鏡

服 装：長袖、長ズボン、長靴、マスク

申 込 先：あさはた緑地管理事務所（裏面申込書）

電話：054-295-5165 Fax：054-295-5166

受付時間：9:30～17:00（申込順）

※新型コロナウイルス感染症対策についてご協力をお願いいたします。※

主催：麻機ウエットランドクラブ＜麻機遊水地保全活用推進協議会＞

協力：（社）グリーンパークあさはた



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

秋の自然観察会 参加申込書

参加を希望される方は、下表に必要な事項をご記入のうえ、11月4日（金）正午までにあさはた緑地管理事務所までFAXでお申し込みください。

電話：054-295-5165 Fax：054-295-5166

FAXの無い方は、電話でも結構です。

参加者氏名	住 所	電話番号	年齢

※今回収集した個人情報は、本観察会申込者の管理事務及び今後の観察会等のご案内に使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

※ 案内図



最寄りバス停『大浜麻機線』
麻機小学校前

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

ふゆのみちでリースづくり

雨天
中止



『麻機遊水地をおさんぽしながら
世界に1つだけのリースを作ろう!』

日 付：12月4日(日)

時 間：10時～12時

場 所：※約2キロ歩いてリースを作ります!
てんかん病院駐車場入口南側の遊水地
(当日案内人が立ちます)
地図はHPにてご確認ください。

参加費：子供も大人も300円(未就園児無料)

定 員：先着20名(未就園児は含まず)

持ち物：作品持ち帰り用袋(紙袋がおすすめ)

剪定ばさみ(お持ちの方)

水筒・タオル・帽子・軍手・マスク

長ズボンで汚れてもよい服装

お願い：当日の朝、体温を計ってきて下さい。

きて・みて・ふれて
あさはた ウェットランド



↓お申込み↓
下記フォーム又は
お電話にて
お申込み下さい。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



黄色の旗が
目印だよ



ウェットランドってなあに?

ウェットランドとは「湿地」の
ことを言います。つまり、長靴
で歩くところ! 田んぼ・小川・
遊水地・水たまり…。そこには愉
快で不思議な生きものたちが集
まってきます。なにが、どんな
くらしをしているか、一緒に足
元の世界を覗いてみませんか?

ねえ知ってる?こんなこと!

- 麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は、世界一の規模だったってこと!
- 遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと!
- 江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠玉を作っていたってこと!
- 日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしてるってこと!



あさはた緑地
Aisaha Ryokuchi Park

共
催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

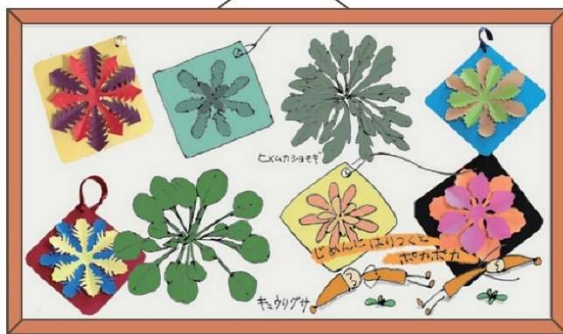
受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

ふゆのみちでロゼットさがし／



日 付：1月21日（土）

時 間：10時～12時

場 所：あさはた緑地

集 合：あさはた緑地会議室

参加費：子供も大人も300円（未就園児無料）

定 員：先着20名（未就園児は無料）

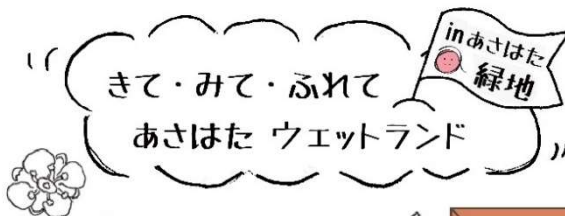
持ち物：水筒・タオル・帽子・マスク

長ズボンで汚れてもよい服装

お願い：当日の朝、体温を計ってきて下さい。

※荒天中止※中止の際は8時30分HP掲載

『ロゼットを探してあさはた緑地をおさんぽ♪
観察後は切り紙で素敵なロゼットを作ろう！』



↓お申込み↓
下記フォーム又は
お電話にて
お申込み下さい。



河川基金 公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。



ウェットランドってなあに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが集まってきます。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗いてみませんか？

ねえ知ってる？こんなこと！

- 麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は、世界一の規模だったってこと！
- 遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと！
- 江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠玉を作っていたってこと！
- 日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしてるってこと！



共催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

あさはた緑地で春みつけ！



『 足下にひっそりと咲いている花を探して
かわいい花束をつくろう！ 』

日 付：3月12日（日）
受 付：9時45分～10時
時 間：10時～11時30分
場 所：あさはた緑地
集 合：あさはた緑地センターハウス前
参加費：子供も大人も300円（未就園児無料）
定 員：先着20名
持ち物：水筒・タオル・帽子・マスク
長ズボンで汚れてもよい服装
お願い：当日の朝、体温を計ってきて下さい。
※荒天中止※中止の際は8時30分HP掲載

“ きて・みて・ふれて
あさはた ウェットランド ”



↓お申込み↓
下記フォーム又は
お電話にて
お申込み下さい。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



黄色の旗が
目印だよ

ウェットランドってなに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが集まってきます。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗いてみませんか？

ねえ知ってる？こんなこと！

- 麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は、世界一の規模だったってこと！
- 遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと！
- 江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠玉を作っていたってこと！
- 日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしてるってこと！



あさはた緑地
Asahata Ryokuchi Park

共
催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

令和4年度 麻機ウェットランドクラブ×東部生涯学習センター共催事業

カヤネズミの くらしを学ぼう



第1回

10/16(日)

どんなくらしをしているの？

カヤネズミの気持ちになって、
カヤネズミのくらしを体験
しながら学んでみよう

第2回

10/23(日)

カヤネズミの巣を探しにいこう！

麻機遊水地でカヤネズミの巣を探
しながら、カヤネズミのくらしについ
て考えてみよう

第3回

1/15(日)

カヤネズミを守ろう！

麻機遊水地でカヤネズミのくらしを
体験し、カヤネズミの住む環境と
保全について学んでみよう

※各回の内容は変更になる場合があります。

日 時 10/16(日)、10/23(日)、R5/1/15(日) 10:00～11:30

場 所 あさはた緑地(葵区赤松 2-1) ※現地集合・解散
※第1回…あさはた緑地センターハウスで室内講義。
※第2・3回…あさはた緑地で野外活動。雨天の場合は、下記のとおり順延。
第2回 10/30(日)、第3回 R5/1/22(日)

講 師 第1回 山根 真智子(ふじのくに地球環境史ミュージアム インタープリター)
第2・3回 栗山 由佳子(麻機ウェットランドクラブ)

対 象 小学生8人(保護者同伴)

参加費 1人200円(全3回分)

持ち物 筆記用具、水分補給用の水筒

※第2回以降の野外活動に必要なものについては第1回で別途通知します。

申込方法 9/18(日)10:00～受付開始
電話で東部生涯学習センターへお申し込みください。(申込順)

静岡市東部生涯学習センター

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

〒420-0803 静岡市葵区千代田七丁目8-15

電話:054-263-0338

(月曜・祝日休館) <https://sgc.shizuokacity.jp/>



カヤネズミ *Micromys minutus* (萱鼠)

日本でいちばん小さなネズミです。
一生を草むらですごし、人家に上がりこむことはありません。
河川敷や休耕田などの、背の高いイネ科の植物（カヤ）が生えている
場所を好みますが、最近はカヤ原が少なくなってしまったため、絶滅が
心配されています。



静岡県レッドリスト: 準絶滅危惧 (NT)

現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に
移行する可能性のある種

共催団体 麻機ウェットランドクラブ

ウェットランドとは湿地のことです。私たちは、麻機の3つの水環境を代表するオニバス（池）・
ミズアオイ（湿地）・カヤネズミ（湿原）を指標に、それらがこれからもずっと生息できるような環境
を残すことを目指して活動しています。

静岡市の麻機遊水地を中心に、湿地で絶滅が心配されている動植物を守るための野良仕事や
自然を楽しむ観察会、工作・お話し会などを行っています。

おもな活動

- 月1回の定例作業（草刈りなど野良仕事）
- ふじのくに地球環境史ミュージアムの中庭池管理作業
- お散歩観察会（ハス観会、リース作り、七草摘みなど その時に応じて不定期開催）
- 定例観察会 オニバス（8月）・ミズアオイ（9月）・カヤネズミ（10月）



新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 講座にご参加いただく際にはマスクの着用をお願いいたします。
- ② 講座実施日から過去 2 週間において以下の事項に一つでも該当する場合は参加をご遠慮ください。
 - (1) 37.5 度以上の発熱または平熱より 1 度以上高い場合
 - (2) 息苦しさ・強いだるさ、咳・のどの痛みなどの症状がある場合
 - (3) 新型コロナウイルス感染症陽性と判明された方との濃厚接触
 - (4) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (5) 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触
- ③ 感染者が発生した場合等、必要に応じて保健所等の公共機関へ氏名、連絡先等を提供することがあります。

カヤネズミのくらしを学ぼう 事業共催依頼書

4 静文東生第 37 号
令和 4 年 9 月 29 日

麻機ウェットランドクラブ 様

静岡市東部生涯学習センター
センター長 白石 良昭

事業の共催について（依頼）

このことについて、下記のとおり共催事業として実施したく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 趣旨・目的 地域に生息する絶滅危惧種について学び、身近な自然環境に対する保全意識を高める。
- 2 事業名 カヤネズミのくらしを学ぼう（全 3 回）
- 3 日時・内容
第 1 回 令和 4 年 10 月 16 日（日） 10:00～11:30
座学やワークショップを通してカヤネズミの生態について学ぶ。
第 2 回 令和 4 年 10 月 23 日（日） 10:00～11:30
自然観察を通してカヤネズミのくらしについて学ぶ。
※雨天の場合、順延日は令和 4 年 10 月 30 日（日）
第 3 回 令和 5 年 1 月 15 日（日） 10:00～11:30
自然観察とカヤを使用したホウキ作り体験を通して自然と人との共生について考える。
※雨天の場合、順延日は令和 5 年 1 月 22 日（日）
- 4 会場 あさはた緑地（葵区赤松 2-1）
- 5 対象 小学生 8 人（保護者同伴）
- 6 業務分担 麻機ウェットランドクラブ : 講座企画、運営、講師派遣、事前準備
一部経費負担
静岡市東部生涯学習センター : 広報、チラシ作成、受付、会場確保、
諸経費負担
- 7 連絡先 静岡市東部生涯学習センター（担当：杉井 円） TEL：054-263-0338

カヤネズミのくらしを守ろう（全1回） 共催事業依頼書

4 静文東生第 60 号
令和 5 年 1 月 13 日

麻機ウェットランドクラブ 様

静岡市東部生涯学習センター
センター長 白石 良昭

事業の共催について（依頼）

このことについて、下記のとおり共催事業として実施したく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 趣旨・目的 地域に生息する絶滅危惧種について学び、身近な自然環境に対する保全意識を高める。
- 2 事業名 カヤネズミのくらしを守ろう（全1回）
- 3 日時 令和5年2月19日（日）13：30～15：30
- 4 会場 あさはた緑地センターハウス 第1会議室・第2会議室
- 5 対象 「カヤネズミのくらしを学ぼう」受講経験者有志 及び
「市民生きもの調査員養成講座」受講経験者有志 20人
- 6 業務分担 **【静岡市環境局環境創造課】**
「市民生きもの調査員養成講座」受講経験者への広報協力等
【麻機ウェットランドクラブ】
「カヤネズミのくらしを学ぼう」受講経験者への広報協力等
【東部生涯学習センター】
講師折衝、会場確保、申込受付、諸経費負担、広報等
- 7 連絡先 静岡市東部生涯学習センター（担当：杉井 円）TEL：054-263-0338

助成番号		助成事業名	所属・助成事業者氏名
2022-6113-008		多様性のある湿地環境の再生と、子どもたちの自然体験活動の推進	麻機ウェットランドクラブ 代表 石上恭平
	主な実施箇所	麻機遊水地第1工区 あさはた緑地	
助成事業の主な実施箇所			
	遠景	近景	
河川基金ロゴ等表示状況写真			
			